

令和 5 年度 事業報告書

公益財団法人 佐賀県消防協会は佐賀県民の生命、身体及び財産を火災その他の災害から守るため、消防思想の普及啓発、消防団員等の士気の高揚、消防の団結力を高め、消防技術の向上を図るための事業を行う。

1 公益目的事業 1 (消防思想の普及啓発、消防団員の士気の高揚等の推進)

(1) 佐賀県消防大会第 70 回記念大会の開催

令和 6 年 3 月 17 日 (日) 佐賀県との共催により佐賀市の SAGA アリーナで開催した。第 70 回の記念大会として防災ヘリコプター「かちどき」のデモンストレーションを始め、各種イベントを実施した。一般参加者も多数来場し、盛会であった。

(受章披露)

◇日本消防協会表彰

表彰旗	1 団
竿頭綬	3 団
功績章	1 9 名
精績章	4 6 名
勤続章	1 3 7 名

(表 彰)

○佐賀県消防協会表彰

竿頭綬(施設) 3 団、(教養) 2 団、(現場功労) 1 団、(無火災) 8 団、功績章 5 7 名、永年勤続章 3 0 6 名、永年勤続章(消防事務担当者) 1 名、表彰状(女性団員) 2 名、感謝状(退職消防団長) 5 名(退職消防長) 2 名(消防事務担当者) 1 名
「防火に関する標語」入賞者 2 4 名

(2) 全国消防殉職者慰霊祭

第 42 回全国消防殉職者慰霊祭が令和 5 年 9 月 14 日 (木)、東京都ニッショーホールで開催され、本県の遺族代表 1 名と会長、事務局が参加した。

(3) 広報宣伝

○ 消防思想の普及、防火啓発事業

消防防災意識の向上と防火防災思想の普及促進を図るため、整備状況等について協会ホームページに公開し、利用を呼び掛けた。

また、広報紙等による月刊ぷらざ(佐賀市)、ハナビ(唐津市・東松浦郡)、

むちゅう（伊万里・有田・武雄・杵島郡他）、エール（鳥栖市・三養基郡）に消防団確保対策及び応援の店を記載し広報した。

○ 消防団員加入促進

地域防災の要である消防団員の確保のため、ホームページに常時、団員確保のお願いを記載している。

令和 5 年 9 月 30 日、11 月 11 日サガン鳥栖サッカー試合会場イベント広場で、消防団募集活動を実施した。

（4）表彰

○ 佐賀県消防協会定例表彰

県内の優良消防団（団員）・消防職員・消防協力民間団体を規定により表彰した。披露は佐賀県消防大会で行ない、協会ホームページでも公表した。

表彰審査委員会（正副会長 4 名・地区消防協会長 4 名・県消防長会長・常務理事計 10 名…以下同じ） 令和 5 年 12 月 12 日 実施

○ 日本消防協会定例表彰

日本消防協会表彰基準に基づき優良消防団（団員）・消防職員・女性消防隊（隊員）を表彰審査会で選考し、上申する。

表彰審査委員会 令和 5 年 8 月 23 日実施

なお、受章者（団体）は、令和 6 年 3 月 8 日東京都で開催の第 76 回日本消防協会定例表彰式で表彰され、表彰物品等については 3 月 7 日に県内市町、消防本部に配布した。

2 公益目的事業 2（消防力を強化し、県民の安全・安心に寄与する）

（1）消防操法大会

○ 第 25 回全国女性消防操法大会

令和 5 年 10 月 21 日（土）東京臨海広域防災公園で開催され、佐賀県代表として三神地区より神崎市消防団女性部が出場し、結果敢闘賞をいただいた。

（2）消防力強化促進

○ 第 22 回佐賀県女性消防団員活性化セミナー

令和 6 年 2 月 4 日（日）杵藤地区の嬉野市社会文化会館「リバティ」で開催した。佐賀県危機管理・報道副局長、嬉野市長、嬉野市議会副議長の挨拶のあと、武雄市消防団、有田町消防団、佐賀市消防団大和支団、みやき町消防団の活動報告を行った。

また、令和 5 年 12 月 3 日（日）女性消防団員の指導的な部長、班長等を対象にしたリーダー研修を佐賀市の佐賀県立生涯学習センター「アバンセ」で実施した。

○第 28 回全国女性消防団員活性化石川大会

令和 5 年 11 月 16 日（木）石川県金沢市で開催され、県内 9 市町消防団および消防協会長が参加した。

（3）教養訓練事業

○ 消防団幹部地区別研修会

消防団員を指揮監督する立場の消防団幹部（団長・副団長）の消防団の現状認識や問題意識の共有、情報交換を目的として県内 4 地区で実施した。

令和 6 年 1 月 16 日 佐城地区小城市市役所会議室 39 名

令和 6 年 1 月 19 日 杵藤地区嬉野市中央公民館 41 名

令和 6 年 1 月 26 日 松浦地区唐津市市役所会議室 32 名

令和 6 年 1 月 30 日 三神地区吉野ヶ里町中央コミュニティセンター 41 名

○ 消防団長会議

令和 5 年 5 月 26 日（金）佐賀広域消防局（2 階）講堂で実施し、意見発表（消防職員 3 名、消防団長 1 名）を行った。

○ 県外視察研修

令和 6 年 2 月 16 日（金）杵藤地区消防本部において、県内の消防団長、消防長および本協会と活動報告、意見交換等を実施した。

○ 日本消防協会主催の各研修会

日本消防協会主催の各研修会への参加者選考と助成を行った。

- ・ 消防団幹部特別研修（団長又は副団長） 毎年 1 名 基山町 1 名
- ・ 消防団幹部候補中央特別研修（男） 今年 3 名 多久市 3 名
- ・ 消防団幹部候補中央特別研修（女） 今年 2 名 伊万里市 2 名

3 共益・その他事業

（1）防火ポスターの募集

県内小中学生を対象に各消防本部を通じて募集し、各消防本部は県協会の募集要項に基づき管内各小中学校に応募をお願いする。応募した作品の中から 2 点を選考し県協会に提出、その中から 2 点を選び日本消防協会選考会に応募した。

県協会に応募した全作品は協会長表彰（記念品授与）を実施した。

（2）防火標語の募集

佐賀県等と共催で県内小中高生を対象に防火標語の募集を実施する。

入賞者は佐賀県消防大会で表彰した。

（3）弔慰金の贈呈

県協会会員である消防職団員が死亡した場合、遺族に弔慰金を贈呈している。

今年度については 16 名の遺族の方に贈呈した。

(4) 消防団員支援優遇制度

消防団員確保対策として、当協会と覚書を交換している各種事業所等で消防団員、その家族が飲食その他等で利用した場合、各種サービスが受けられる制度である。

この制度を充実強化するため、新たな企業に協力要請を積極的に実施し、令和5年度は1店舗の加盟、1店舗の閉店となり、現在88事業所1,003店が加盟している。

(5) 日本消防協会が実施する消防団員福祉共済事業等

○ 消防団員福祉共済事業(福祉共済・火災共済・消防個人年金)の給付事務並びに加入促進を実施した。

○ 福祉増進事業

消防団員福祉共済に加入者を対象に消防団員の健康保持を目的として健康器具等を購入し配布した。

4 法人会計

(1) 理事会

令和5年5月11日(木) 佐賀県市町会館

令和5年5月26日(金) 佐賀広域消防局

令和5年8月23日(水) 佐賀県市町会館

令和5年12月12日(火) 佐賀県市町会館

令和6年3月12日(火) 佐賀県市町会館

(2) 評議員会

令和5年5月26日(金) 佐賀広域消防局

令和6年3月26日(火) 佐賀県市町会館

(3) 市町消防団事務担当者会議

毎年、日本消防協会職員から事業説明を実施しており、今年も実施する予定だったが、日程調整がつかず中止した。

(4) 日本消防協会会議

令和5年7月13日(木) 九州地区消防協会長会議が鹿児島県で開催され、協会長と事務局が参加した。令和6年2月13日(火) 九州ブロック協会長会議が長崎県で開催され、協会長が出席した。

日本消防協会役員会議(理事会・評議員会) 令和5年6月22日(月)
日本消防会館。

日本消防協会役員会議(理事会・評議員会) 令和6年3月7日(木)
日本消防会館。

都道府県消防協会事務局長会議 令和6年2月28日(水) 日本消防会館。

(5) 法人管理業務

公益財団法人佐賀県消防協会の運営に関して、必要な管理業務を行った。